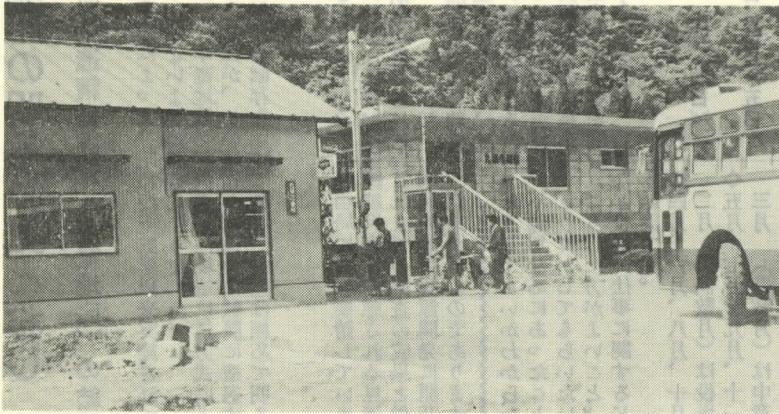


# 国鉄バス 九頭竜湖駅舎が完成

## 東京行のキップも買えます



写真は新築された国鉄バス「九頭竜湖駅前」駅舎

先号でもおしらせしましたが、この程国鉄バス駅舎が完成し、店開きをしました。

旅客扱いは、国鉄バスはもちろん、全国鉄道各線のキップ(急行券、指定席券等を含む)も買えますが、遠距離の場合は、四十五日前にお申し込み下さるようお願いいたします。

なお、国鉄バス、汽車の発着時刻はつぎのとおりです。



発行所  
福井県大野郡  
和泉村  
下穴馬 ☎ 912-02  
中竜 ☎ 912-03

(昭和48年5月1日現在)

村の人口	0人
出生	1人
死亡	28人
転入	38人
転出	2,246人
総人口	1,167人
男	1,079人
女	627人
世帯数	627世帯

村の面積  
332.60 km<sup>2</sup>

### 時刻表

#### 越美北線(汽車)

福井	越前大野	九頭竜湖駅前	越前大野	福井
発	着	発	着	着
六二〇	七〇〇	七五〇	七五〇	八三〇
三三〇	三三〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
七〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
六二〇	七〇〇	七五〇	七五〇	八三〇

#### 中竜線(国鉄バス)

中竜口発	九頭竜湖駅前	中竜口着
着	発	着
七五〇	七五〇	七五〇
六六〇	六六〇	六六〇
三三〇	三三〇	三三〇
六六〇	六六〇	六六〇
三三〇	三三〇	三三〇

#### 石徹白北線(国鉄バス)

朝日前坂発	九頭竜湖駅前	朝日前坂着
着	発	着
七五〇	七五〇	七五〇
七〇〇	七〇〇	七〇〇
七〇〇	七〇〇	七〇〇
七〇〇	七〇〇	七〇〇

(朝日前坂間二往復)

### 今月の目標

- 梅雨期の保健衛生に注意しよう
- たべものはつとめて新鮮なものを選びましょう。
- 晴天の日をためて寝具など日光消毒をしましょう。

### 入札のおしらせ

旧教職員住宅など

- 一、入札の場所および日時  
場所 和泉村役場  
日時 昭和48年6月11日午前10時
- 二、入札物件  
(1)旧教職員住宅(朝日)  
木造カラストタン瓦葺葺平家建 四三、八九㎡
- (2)旧工務所宿舎(朝日)  
木造カラストタン瓦葺葺平家建 四三、八九㎡
- (3)公営住宅(朝日)  
木造カラストタン瓦葺葺平家建 七二、九六㎡
- (4)旧下山小学校教職員住宅(下山)  
木造カラストタン瓦葺葺平家建

#### 大野方面(国鉄バス)

越前大野発	九頭竜湖駅前	越前大野着
着	発	着
六二〇	六二〇	六二〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇

#### 白鳥方面(国鉄バス)

美濃白鳥発	九頭竜湖駅前	美濃白鳥着
着	発	着
二二〇	二二〇	二二〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇
三三〇	三三〇	三三〇

## 危険!

### ダムの放流による増水に注意

### サイレン



梅雨期をむかえ、出水によりダムから放流する場合があります。

ダムの放流のときは、電発会社と建設省ダム管理所では、警報車によりバ

サイレンの吹鳴を始めます。

そのときは、絶対河原に立入らないで下さい。とくに、子供さんご注意をお願いします。

なお、山原ダム、石徹白ダムについては洪水調節の装置がありませんので大雨や長雨のときは、自然超流しますのでご注意ください。

建設省九頭竜ダム管理所  
電源開発株式会社

◇ 無理するな 遠くに見えても 車は速い

◇ 歩くまい 車のすぐ前 すぐうしろ

# 大規模鉱床の明るい見とおし

## 地質構造精密調査（中竜地区）の結果

金属鉱物探鉱促進事業団によって、昭和四十五年以来実施されていた第一次精密調査も、本年はいよいよ最終年度となりました。

全国で初の試みとして、中竜地区で採択された構造坑道方式による調査の坑道もこの程貫通しましたが、この坑道の掘進中に鉱脈に遭遇するなど、その結果は、大規模鉱床の賦存を示すものと、前途は極めて明るい見通しとなりました。

四十八年度中続行されるボーリング調査によって、さらに確実な結果が得られるものと大きな期待が寄せられるに至りました。

しかし、村内には随所に現在の精密調査地域に類する有望地点があり、鉱床賦存の可能性が大いに期待されるので、これらの地点についても調査を推進して、将来の地下資源開発の成果が挙げられるよう、第二次精密調査を開始

### 行政相談委員に

稲郷貞一氏（朝日）

行政相談の日（毎月十五日）

ことしから、毎月十五日を定例行政相談の日と定め、役場本庁と、中竜支所で無料相談所を開設することになりました。

国の機関、国鉄、公団、公社等の取扱っている仕事を始め、県や村の仕事で国から委任されたり、補助をもらって行なう仕事、あるいは村独自の仕事についてもお困りの方や、ご意見、ご要望をお持ちの方は、この「行政相談所」をご利用下さい。

ご相談には、行政相談委員稲郷貞一氏（電話下穴馬局八九番）のほか、必要によっては福井行政監察局職員が応じ、適切なあっせんを行ないます。

おります。

本村の県政広聴員はつぎの方々です

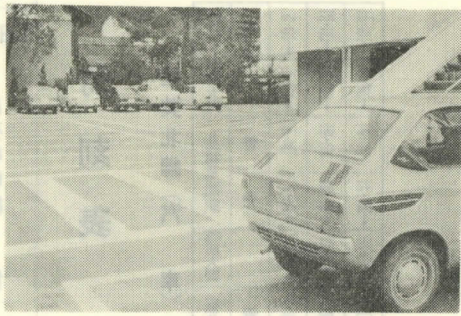
県政広聴員  
三島藤市（朝日）下穴馬三二番  
登久男（上大納）中竜五九番

### 役場前がきれいになりました

「駐車区画」白線を引く

いままで自由に駐車してました役場前の広場に、今度駐車区画の白線をひきました。役場前側に三〇台分、国道側に七台分計三十七台が駐車できるようになりました。

もちろん無料駐車ですが、少い用地を十分に活用するため区画線を引いたわけです。皆様のご協力をお願いいたします。



きれいに白線で区画された役場前

### 県政へのご意見ご要望は

#### 県政広聴員にご連絡を

県政広聴員がみなさんの近くにおりますことをご存じですか、県では一人でも多くの県民のみなさんにご意見やご要望を出していただくため、積極的に県政に反映させるため、全国でもあまり例のない制度として県政広聴員制度を設けています。

なお、本村では、県のことも村のことも含めていろいろご相談を承っております。

### 和泉村で開催

発電施設関係市町村全国協議会  
福井県支部総会

春光うららかな去る四月二十七日、発電施設関係市町村全国協議会福井県支部（支部長和泉村長）総会が当村で開催されました。

この団体は、発電施設を有する市町村が共通の問題に取組み解決しようとするもので、今年度の活動方針として高圧線下における補償問題に取組むことに決定し散会しました。

### 簡易保険

郵便局の簡易保険に加入された方々が毎月お払込みになる保険料は一年間に数千円という大きな金額になります。このお金は、やがては皆さんのお手許に保険金・配当金としてお返しするものであります。それまでは積立金として積立てておくものです。

しかし、この積立金は、ただ金庫の中でねむっているわけではなく、加入者の方々の利益にもなり、社会全体の利益にもなるよう有効に活用されております。たとえば、都道府県、市町村などや日本国有鉄道、住宅金融公庫、国民金融公庫、中小企業金融公庫などに融資されて、学校、公営住宅、病院などを建てるための資金、道路、橋梁、水道などの事業資金、交通事業や農村漁村の設備資金、災害復旧工事資金などとなっております。皆さんの生活と直接結びついております。

このように簡易保険事業の資金は明るい村、住みよい町をつくるために役立ち、あわせて日本経済の発展のうえにも大きな役割を果たしているのです。

また、このほか加入者の皆様方のご要望に応じて、直接現金を融資する普通貸付や、契約者十五人以上が一団となつて、その団体の被保険者の共同の利益を図る施設を設置したり、購入したりするための資金を融資する団体貸付などがあり、加入者の皆様のお役に

に立っています。

今までも学校建設資金の一部を融資してもらったりして村民の方々に大変役に立っています。ことしも、荒島林道と蛇鏡林道事業費の一部に融資を受けております。

### 交通事故をなくそう

交通事故は年々増加の一途を辿っています。

交通事故は、いろいろの原因が複雑にからみあって発生するものであり、「人と車」による人災であるといえます。したがって、交通事故を防止する近道は、自動車等を運転される人も、歩行者も、道路を利用されるすべての人が交通ルールを守ることにあります

交通安全標語

- 一、運転者  
せまい日本、そんなに急いでどこへ行く
- 二、歩行者  
たしかめて、またたしかめて、ハイ横断
- 三、子供  
ぼくしない、どうろのとびだし、わるふざけ



計量に強くなろう

「一山でなく、百方でくらなう?」

# 山火事をなくしよう

## 森林は汗の結晶

近年、野外レクリエーションとしての山菜取りなどが増加し、タバコや、たき火の不始末による山火事が全国的に多くなっており、本村でも今年になって二回も発生しております。

森林所有者の汗の結晶である、植林地が心ない人のために焼失することは森林所有者の損害だけでなく、村や国の損失でもあります。

タバコの吸いがら、たき火の後始末などじゅうぶんに注意して下さい。さらに入山される人を見受けたらお互いに注意しましょう。

なお、次のことを守りましょう。  
一、造林地の火入れを行なう場合は、必ず許可を受け、充分な消火設備を確保すること。

二、風の強いとき、警報の出ているときは絶対に火入れをしないこと。  
三、大面積に火入れをするときは、小

### 陶磁器の「安全マーク」をこ存じですか

四月一日より陶磁器の安全マークが実施されております。

みなさんも、テレビや新聞などでお聞きのことと思いますが、陶磁器製の食器や台所用品の上絵などに鉛やカドミウムが含まれていたため、このような陶磁器を市場や店舗に出さないようにするため、業会（日本陶業連盟）では、安全対策の一環として検査に合格したものに限り、安全マークを貼付けることにしました。なお、中華食器については昨年十月から実施されているようです。

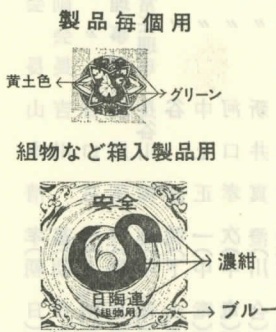
そこでわたくし達は、これから台所用品や食器類を買求めるときは、かし

面積に区切って別々に行ない残り火に特に注意すること。

四、災害保険の加入について  
現在一令級の林分については森林国営保険に加入していますが、その他についても森林保険に加入されま

ようおすめします。  
（くわしいことは役場業務課または森林組合へおたずね下さい。）

この消費者となるために安全マークを知っておきましょう。この安全マークの表示は、マーク委員会が検査の結果安全であると認めた製品については、箱入れやセットの場合は、箱毎に安全マークが貼付してあるか確かめましょう。マークを貼付けた製品には、生産者の登録工場番号、または登録商標（または名称）を焼付表示がしております。安全マークは左のとおりです。



白バラコーナー（その一）

### 「選挙管理委員会」とは

昨年度は、農業委員会委員選挙、市長ならびに村議会議員補欠選挙、衆議院議員選挙および最高裁判所裁判官国

民審査と、秋に選挙が集中して行われました。今年はいまのところ選挙はありませんが、今月から選挙シリーズとして、選挙に関する常識的なことからをひらいてみたいと思います。まず、選挙管理委員会について考えましょう。

#### 選挙管理委員会

選挙を民主的に公正中立に行なうため設けられた行政機関です。この制度は昭和二十年から発足しました。

この機関は都道府県、市区町村に置かれ、衆議院議員、参議院議員をはじめ都道府県および市町村の議会議員と長の選挙（地方選挙）の事務を行ないます。このほか最高裁判所裁判官国民審査、農業委員会委員選挙、各種の住民投票など、およそ公けの選挙とか、投票に関係する任務を担当する機関で

委員は四人、任期も四年です。なお、その事務を行うために事務職員が置かれていますが、本村の場合は、役場の総務課職員全員が兼務しております。管理委員は次の方々です。

- 委員長 吉岡 淳
- 委員 巢守 栄太
- 谷 義明
- 飯島 広通

#### 季節の話題

### 子ぐま

春先、木の芽が吹き出る頃、親ぐまは子ぐまをつれて散歩に出ました。

ちょうど童話に出てくる文句のようですが、実は四月下旬に子ぐまを捕えた本村の話。生け捕り主は上大納の吉岡淳さん他二人で、親ぐまといつしよに遊んでいるところに出合い、親ぐまはじめて、子ぐま四頭を生け捕ってきました。



吉岡さんは早速金網で小屋を作ってやりました。子ぐまも腹がへつてくる人間のあかちゃんのような声を出して泣きます。そうしてはかなわなくなり、吉岡さんもこれにはかなわなくなり、仕事の忙がしさを忘れてミルクを与えてやります。だっこをして哺乳瓶でまませますと本当にかわいく哺乳瓶を小さい両手でだきしめ、ずいずい音をたてて吸います。腹がふくれてくると、こんどは人間さまと散歩です。子ぐまは、これのようにかわいく、人になつき、どこまでもついてきたりして遊



### まずオハヨーの挨拶から

オハヨーゴザイマス、重そうなカバンを両手に持って、小さな体を横にくねらせて、大きな口から元気な朝の挨拶を受けると、反射的にオハヨー!!と答え、ほほえみを覚える。ほんとに心の温まる何ともいえない楽しい気持ちになります。

一日の仕事を終えて疲れているときあるいは心配ごとを抱えての帰路など、とくに無邪気な子供からのことばは、「何をよくよしているの、頑張ってる下さい」と、はげましてくれているよりもあります。

私はそんなとき、よく「童心に帰れ」という言葉を思い出しています。にくしみも、そねみも、へつらいもあだよくもない。ただ、目につく、心に思うままを何のどんじやくもなく言葉にあらわし、そして行動に移せるそんな世の中、気持ちになれる、どんなにかしあわせな日常生活ができることと思います。

毎朝、何人かの誰かといひ交わす、「オハヨーゴザイマス」の挨拶、とくに小さな学童のことばこそ、その日の活力を倍加してくれるようでもありません。

吉岡さんは、たいへん動物好きで、現在犬も飼っております。また動物をならすことがよくございまして、以前にも子ぐまを生け捕り、人間によくなれさせたいことが何度かありました。

◇お母さん 幼児は右に手をひいて

◇あそびませんこわい車のとおるみち

### 会長に 山本清孝氏(新)

副会長に 吉川 基氏(再)

谷口三代さん(新)

### 和泉村体協総会開く

和泉村体育協会は、このほど、役場において総会を開き、昭和四十七年度決算承認のあと、四十八年度の事業計画と予算および、新しい役員を決めました。

おもな事業計画は、つぎのとおり。

- 六月十七日 村民バレーボール大会
- 七月 上旬 ソフトボール大会
- 七月 下旬 オリエンテリング大会
- 八月 上旬 スポーツ少年団サッカーバスケット大会
- 中旬 県体参加
- 二十二日 高志地区子ども会親善フットボール大会(和泉)
- 九月 上旬 村民卓球大会
- 県スポーツ少年大会参加
- 十月廿一日 村民体育大会
- 下旬 奥越駅伝競走参加
- 十一月上旬 いずみ駅伝競走
- 中旬 スポーツ少年卓球大会
- 十二月 レクリエーション講習会
- 一月 上旬 スキー練習会
- 中旬 スキー学校
- パッチテスト
- 下旬 クラブ対抗スキー大会参加
- 加 奥越スキー選手権大会
- 二月 上旬 県体スキー大会参加
- 中旬 国体、中部大会参加
- 不定期開催 少年スポーツテスト
- 村民体力テスト

会長	山本清孝(朝日)新
副会長	吉川基(朝日)再
理事長	谷口三代(上大納)新
常任理事	桜川正(朝日)再
	長谷川義雄(中竜)再
	谷川明(下山)再
	中上正一(中竜)再
	河口孝次(中竜)再
	新井真澄(川合)新
	中内智利(朝日)再
	稲郷栄一(朝日)再
	平野勇(川合)再
監事	河野武雄(上大納)再
評議員	河野武雄(上大納)再
各部担当理事	山口孝次(上大納)再
陸上部	○中内智利(朝日)
	新屋則夫(朝日)
ソフトボール部	○山本一郎(朝日)
	谷政信(下山)
卓球部	○稲郷栄一(朝日)
	新井真澄(川合)
スポーツ少年団	○中上正一(中竜)
	黒田不二夫(朝日)
	羽根田繁紀(大納中)
バレーボール部	○三島哲一(後野)
	坂上三十四(朝日)
レクリエーション部	○小山良一(中竜)
	中村貞代(朝日)
スキー部	○丸山義治(上大納)
	水谷光一(朝日)

河 口 孝 次(上大納)  
 庶 務 杉 原 精 一(教委)  
 会 計 稲 郷 栄 一(郵便局)  
 事務局 和泉村教育委員会内  
 (回下穴馬局二二〇番)

### 生け花教室各地でさかん

婦人学級であいつぎ開講

このところ朝日地区、中竜地区、上大納地区など各地区婦人学級で生け花教室が開かれております。大納分館でも、五月九日夏季学級として山本先生(大納小校長)を講師に大納公民館で生け花教室の開講式を行いました。毎月二回(第一と第三水曜日)で、十二月まで続けられます。写真 山本先生指導による生け花教室



### 昭和五十年には 交通事故死者二万人に

「七十年代の警察」報告書から 激動と変化の七十年代の警察はどうあるべきか―警察庁が昨年まとめた

「七十年代の警察」によると、七十年代の特徴は、①急激な人口の都市集中化が農山漁村の過疎化を生み、住民の連帯意識を薄くし、住民と警察との連携を弱める。②車の保有台数が増大、昭和五十年には三万台、六十年には四十三万台となり、事故、犯罪に重大な影響が出、警察に関係ある治安指標でいうと、三十五年の二〇〇に対し五十五年には三三三に達する。③企業のマンモス化で労働者は疎外感に追い込まれ、単純な動機から誘拐、大量殺人、ハイジャックなど凶悪犯罪を生みやすくなる、としています。また、交通事故発生件数は、五十年には死者約二万人、負傷者百七万人に達すると考えられ、交通渋滞や排気ガスによる交通公害も深刻化する。ドライバーの数も六十年には約四千七百万人になるものとみられています。

### 人のうごき

(婚姻)  
 朝日市 朝本 明日雄  
 神戶市 藤本 明雄  
 角野市 山本 一サチヨ  
 朝日市 山本 一郎  
 板倉市 山南 幸一子  
 大野市 石井 山南 幸一子  
 (死亡)  
 角野前坂 三橋ふく 八二才

### 沿道の花いっぱい

上大納婦人会では、ことしも県道すじ大納小学校前ほか三か所に花壇を作り、道行く人々の心をなぐさめようと、一日の仕事を終えた夕方、婦人みんなが、花の種まきと球根を植付けました。八月頃には、ちらほら花をつけ、みなさんに楽しい心のうらおいをあたえてくれることでしょう。こうした花壇が、和泉村のどこでも



### あとがき

世のうつりかわりは早いもので、広報「いずみ」も、現在のスタイル(前は一般新聞の半分の大きさでした)に衣替してから二〇一号目をおとどけるわけです。当時(昭和四十年一月)当村の人口は、四、一九〇人(男二、一一八人、女二、〇七二人)世帯数一、一六五となっていました。勿論水没前のごとです。また、村の予算も、昭和四十年一般会計当初予算は、一億二千四百五十四千円となっており、今年的一般会計当初予算は五億八千四百三十五万円で、八年前の約四、七倍にふくれ上った。ダム建設のため人口の半減にもかかわらず、予算はますます増大しつつあることがわかります。思えば、昭和四十年は、電源開発償交渉の真最中でもありました。

見受けられるようにしたいものです。写真は花壇づくりの上大納婦人会の皆さん。